

さぽせんあいかわ



発行 あいかわ町民活動サポートセンター
所在地 愛川町角田251番地1
電話 046-205-1323 FAX 046-205-1324
E-mail ai-saposen@bz01.plala.or.jp

この1年間に登録された 新規登録団体の紹介

ライラック心の会

精神障害当事者会（自助グループ）
・当事者同士の情報コミュニティ交換の場。
・一般の方へ精神障害について当事者目線で情報提供をしています。再度『人生』という物語の主人公の第1歩の手助けになればと思います。



主な活動：談話会、しゃべり場、有償ボランティア

愛川平和の町宣言を広める会



平成7年に町が制定した「愛川平和の町宣言」の実現を願い、これを町民に広く知らせます。毎年5月上旬に「あいかわピースパレード」開催の他、平和に関する活動を行います。メンバー募集中。

愛川町珠算愛好会



発足直後コロナで集まらない状況になりましたが、その中でも個別に検定を受け技術向上を目指しています。認知症予防にもなりお歳を召された方でも大丈夫。会員募集中です！

ヒッポファミリークラブ愛川



いろいろな国のことばでゲームをしたり、遊びながら、多言語を習得しています。先生もクラス分けもテストもありません。多世代で楽しく活動しています！！

細野区

防災訓練・情報発信等を通じ「知り合い」「ふれあい」「支えあい」をキーワードにお互いが助け合い親睦を図りながら笑顔が繋がる安全で安心な町内会作りに取り組んでいます。



桜台区自治会

毎年6月に役員旅行を計画して1年間の活動を共にする仲間との交流を深めています。今年度はコロナ禍により中止になりました。写真は令和元年の全員写真です、来年度以降の復活を期待しています。



〈編集後記〉今回のアンケートでは多くの回答をいただき、ありがとうございました。その中で、団体の活動を続けるために、控える、減らす、という表現が多く見られた一方で、〇〇始めました！〇〇を取り入れてみたいです！など新しいことに挑戦している団体もありました。コロナ禍での団体活動のヒントとして、引続き発見・発信していきます。



《あいかわ町民活動サポートセンター》
〒243-0392
愛川町角田251番地1（役場庁舎分館）
TEL：046-205-1323
FAX：046-205-1324
Eメール：ai-saposen@bz01.plala.or.jp
HP: <https://www.town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/>

【休所日】毎週水曜日
新型コロナウイルスの影響により、開所日・開所時間を随時変更しています。
大変ご迷惑をおかけいたしますが、ホームページ等をご確認の上、ご利用下さるようお願い申し上げます。



サポセン愛川

コロナ禍の中で、 私たちは工夫しています！

大変厳しいコロナ禍の中での生活。しかしこういうときだからこそ、団体公益活動の灯を絶やさないようにしたいものです。サポセンではそのための模索を続けています。今回は登録団体へのアンケート結果をもとに、今後の団体活動継続のためのヒントをさぐります。



感染予防対策をした屋外活動



3密を避けた音楽会



オンライン授業も実施



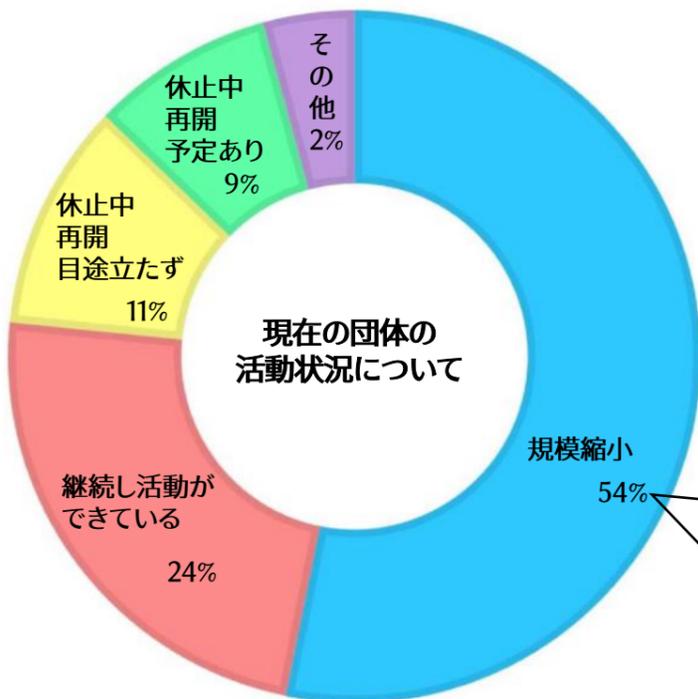
パソコン相談室も予約定員制に



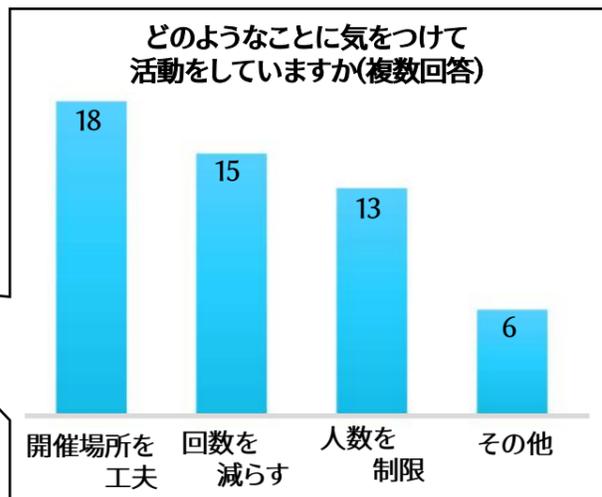
SNS(動画配信)も活用

団体活動への「新型コロナウイルス」の影響は？

サポセンでは、昨年10月、団体活動への新型コロナウイルスの影響について、登録団体にアンケートをお願いしたところ、47団体からご回答をいただきました。その結果をお知らせいたします。



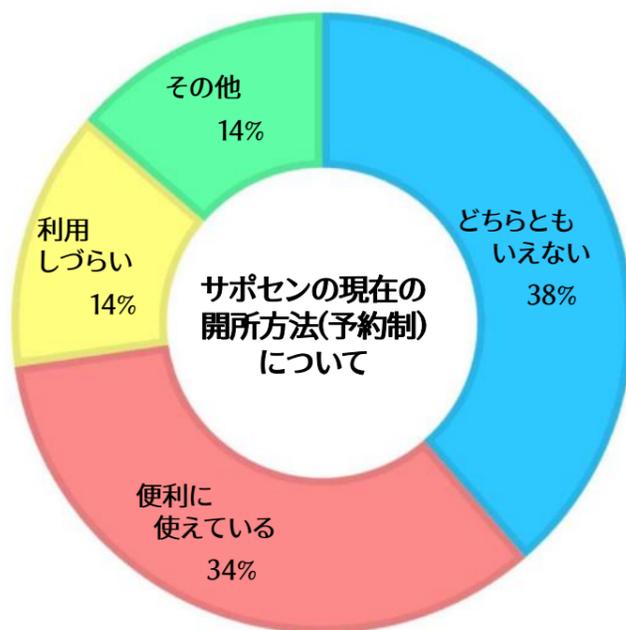
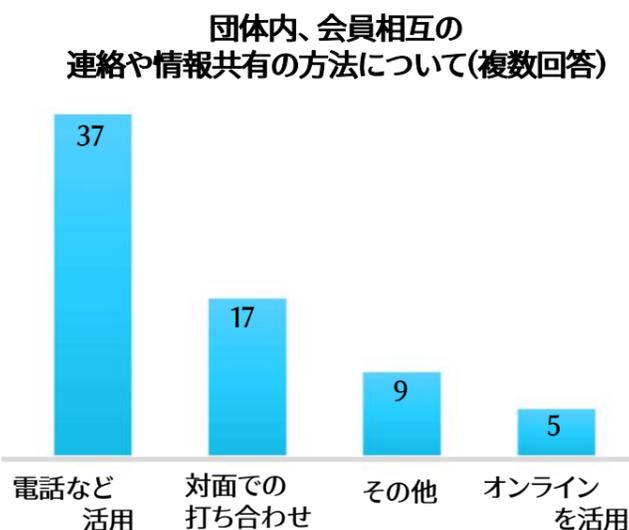
コロナ禍による活動への影響についてお尋ねしたところ、54%の団体が活動規模縮小、20%が活動休止。(左のグラフ)合計74%もの団体が以前どおりの活動が出来なくなっており、非常に厳しい状況であると感じました。「規模縮小」の具体的な方法については、下のグラフのとおりです。



また団体内・会員相互の連絡や情報共有についてお尋ねしたところ、電話などの活用が37団体、オンラインを活用している団体も5団体ありました。

自由記述では文書・手紙のほか、グループLINEを活用しているとの回答もありました。

一方で、以前通りの対面打ち合わせを継続している団体も17団体ありました。



アンケート調査の時点で、サポセンは感染予防対策のため電話予約制での利用となっていました。

それについても伺いました。

便利に使えているという回答が34%あった一方で、利用しづらいという回答も14%ありました。

今後とも、利用される皆様のご意見に耳を傾けながら、より利用しやすい環境づくりを目指してまいります。

私たちは工夫をして活動しています(コロナに負けない！)

コロナ禍で活動継続のための工夫をしている団体事例を紹介します。みなさんの活動のヒントになれば幸いです。(令和2年11月・12月に取材した時点の情報です)

オンライン授業 (非営利組織・小さな森の学校 土曜寺子屋)

「学びにサポートを必要とされる子供たち」に**対面授業**が本来の姿。7年継続してきた、学びの大切な場所ですが、コロナ禍で閉鎖。継続するための手段として**オンライン化**を推進すると決めて、指導員は**猛勉強**。そして実行すると、課題も多く出たが子どもたちからは**思わぬ反響**。マンツーマンでの授業は「集中できた」「勉強ができて嬉しい」の大きな成果がありました。感激!! また準備と子供たちへの連絡を早めにする事で授業時間の有効活用ができるようになりました。



SNSに動画投稿 (愛川ハーモニカアンサンブル)



演奏会や発表会が中止となり、通常の活動が出来ないため、新しい試みとして以前NHK等で収録した古関メロディーの演奏動画をYouTube(コア・ハーモニカチャンネル)にアップしてみました。

コロナ禍でも何か目標を持ち新しいことに挑戦することはとても大切だと思います。

屋外での活動 (熊坂区自治会)

コロナ禍の中、3密を避けるアイデアとして、家族ごとなどで区内を巡るスタンプラリーを思い付き、実施しました。

久しぶりの区の行事なので感染予防対策を厳重に実施して開催しました。多くの区民のみなさんが参加。

「元気だった?」とお互いの無事を確認し合える微笑ましく楽しい行事にすることができました。



みんなの音楽会 (認知症予防カフェ実行委員会)

今まで皆さんと月1回集まりを実施していましたが、コロナ禍で開催不能となりました。それに代わる手立てとして月1回の紙上通信を発行して参加者の思いを共有しています。

加えて3密の回避及び、感染予防対策の工夫(ハンカチマスクを製作して着用)をして、12月に音楽会を開催し久しぶりの対面を楽しみました。

(春日台児童館にて)



サポセンとしてもこのような工夫しながらの活動を応援できるよう、今後の企画を考えていますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

取材へのご協力、誠にありがとうございました。